

稲作だより 第2号

令和8年8月6日発行

JA 福岡市東部 福岡市農業指導センター農産班

～生育概要～

第1号でもお伝えしましたように、今年は梅雨に雨が続きましたが明けた後は好天に恵まれたため、生育は概ね良好で、病害虫の発生も少ないようです。また、高温傾向が続いていますので、稲の生育も早まる傾向です。早めの作業を心掛けてください。

8月4日 現在	平均温度(℃)			日照時間(hr)			降水量(mm)		
	平年	今年	平年差	平年	今年	平年比	平年	今年	平年比
6月上旬	21.3	22.0	0.7	54.4	38.8	71.3%	37.4	41.5	111.0%
6月中旬	22.6	24.1	1.5	48.6	49.8	102.5%	82.7	20.5	24.8%
6月下旬	23.9	22.2	-1.7	33.7	26.0	77.2%	123.2	245.0	198.9%
7月上旬	25.6	26.2	0.6	41.6	46.9	112.7%	148.7	231.5	155.7%
7月中旬	26.9	30.5	3.6	56.1	81.2	144.7%	92.4	0.0	0.0%
7月下旬	27.8	29.8	2.0	77.2	121.7	157.6%	53.0	0.0	0.0%
8月上旬	27.5	30.4	2.9	36.9	49.5	134.1%	24.8	0.0	0.0%

1. 病害虫の発生状況

(1) いもち病

現時点では、勝馬の常発地でわずかに葉いもちが見られる程度で、**全般的に発生は少ない**ようです。

(2) 紋枯病

高温傾向が続いており、5月中下旬植えの一部圃場で発生を確認しております。特に、**毎年のように発生する圃場では注意が必要**です。田の中に入って観察し、発生している株が多く、しかも膝よりも高い位置に病斑が確認される場合には、バリダシン液剤・モンガリット粒剤等による防除を検討してください。上位の葉(止め葉等)に進むと減収に繋がります。



紋枯病

(3) イネカメムシ及び斑点米カメムシ類

イネカメムシの発生状況について、夢つくし(5月中下旬植え)の出穂期調査では、発生は確認されたものの心配していた集中飛来は見られなかったため、不稔籾の発生は少ないと思われます。しかし、今後はすべての品種において**基部斑点米の発生に注意**が必要です。

○基部斑点米発生防止対策



【防除】 穂揃期頃

スタークル豆つぶ 250 g /10a

または

スタークル粒剤 3 kg/10a



イネカメムシ

※他の斑点米カメムシ類も一緒に防除できます。ウンカにも効果があります。

斑点米カメムシ類(ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシなど)については、**県病害虫防除所から注意報が出されており、発生が多くなっています。**畔草管理(稲作だより1号参

照）と併せ総合的な防除を心掛けてください。特に、出荷される場合、班点米は等級が下がる原因となりますので、イネカメムシと一緒に防除を行ってください。

防除適期は、粒剤なら穂揃期頃、粉剤及び液剤なら出穂期から7～10日後頃です。キラップ剤はイネカメムシに対し効果の低下が認められる事例がありますので、イネカメムシと一緒に防除する場合はスタークル剤（粉剤の場合はエクシード粉剤DL）の使用が望ましいと思われます。



ホソハリカメムシ

（4）トビイロウンカ(秋ウンカ)

県下では、7月6日前後に飛来しているようですが、**飛来量は少なかったようです**。管内ではトビイロウンカに効果の高い「防人箱粒剤」などの箱施薬剤を使用しており、現時点では発生は見られておりませんが、今後も発生には注意してください。特に、上記箱粒剤を使用していない圃場では田の中に入って株元を観察するよう心掛けてください。**9月以降も残暑が厳しい時は「坪枯れ」に要注意です。**



トビイロウンカ



坪枯れ

（5）コブノメイガ

現在、管内の極一部の圃場で白変被害葉が見られる程度で、**発生は少ない**ようです。



白変被害葉

2. 今後の水管理

間断灌水で根の健康を維持し、暑い夏を乗り切りましょう！

（1）中干し後の水管理

中干しは終了していると思われます。中干し後は稲作日より1号でもお伝えしておりましたように、間断灌水を行ってください。**なお、中干しが十分にできなかった圃場では、強めの間断灌水を行ってください。**

（2）出穂期前後の水管理

最も水を必要とする**出穂期前後 1週間ほどは、水を切らさないよう気を付けて下さい。**

（3）早期落水防止

出穂期後1週間ほど過ぎたら間断灌水を行いましょう。**収穫作業に支障がない限り、収穫間際まで間断灌水を継続し、落水時期を遅らせるようにしてください（収穫7日前以降）。**

（4）出穂後の強風対策

台風や強風時には深水にして、稲を保護してあげましょう。台風通過後も数日間は湛水状態を保ってください。

3. 出穂期および収穫適期予想

7月下旬以降も高温傾向が続いています。今後も高温傾向が続く場合、出穂期や収穫適期も予想より早まる可能性がありますので、早めの作業計画を立てていただきますようお願いいたします。

(8/6時点)

品種	田植日	出穂期	収穫適期予想
夢つくし	5/16	7/23	8/21～8/26頃
	5/23	7/29	8/27～9/2頃
	6/12	8/12頃	9/13～9/21頃
元気つくし	5/16	7/29	8/29～9/3頃
	6/6	8/10頃	9/12～9/17頃
	6/13	8/16頃	9/19～9/25頃
	6/20	8/18頃	9/23～9/29頃
ヒノヒカリ	6/6	8/23頃	稲作だより 3号に記載致しますので、ご確認ください
	6/13	8/25頃	
	6/20	8/27頃	
ヒヨクモチ	6/13	9/2頃	
	6/20	9/4頃	

※出穂期は初期生育の良否、地域の環境条件（標高、日当たりなど）、栽培方法（施肥量など）により、圃場によって異なってきます。**田植え日が同じでも2、3日異なることもありますので、ご自分の圃場の出穂期を観察してください。圃場全体で穂が4～5割程度出た時が出穂期です。今年は出穂のバラツキが大きいようです。**

※8月6日以降の出穂期は予想です。

※収穫適期は平年気温などのデータ（8/5までは実数値、以降は+1.5℃、9月については平年値）を用いて算出しておりますが、今後の天候等で変わることがあります。

穂の先端が少しでも莢（葉鞘）から出ていたら出穂とみなします。



内容に関する問い合わせは営農生活課または各支店の営農経済担当者へ

営農情報について

①最新の情報を LINE でお届けいたします。

営農情報（稲作だより等）を「JA 福岡市東部 営農情報」の LINE でも発信しております。下記のQRコードからLINEのご登録をお願いいたします。



②稲作だより等の情報が下記のQRコードよりご覧いただけます。



※今後の発行スケジュールですが、「稲作だより 3 号」を 9 月初頭に、「稲作だより 4 号」を年末にと考えておりますので、ご参考下さい。